

『救急車を上手に使いましょう』

「救急車の適正利用にご協力を！」



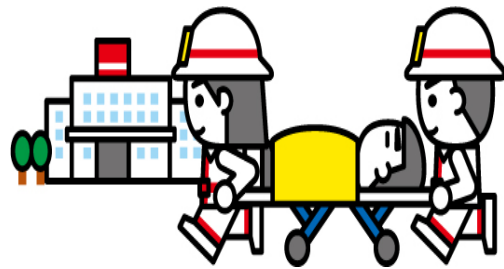
平成22年の横浜消防署管内においての救急出動件数は、222件で救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症者でした。

救急出動の中には、救急車で行くとすぐに診てもらえる、病院への移動手段がないなどの緊急性が低いと思われる要請があります。

不適切な救急車の利用は、本当に救急車を必要としている人に対して適切な救命処置等が遅れて、救える命が救えなくなる可能性があります。

こんな時はすぐに救急車を！（一例）

- ・ 急に倒れた
- ・ 呼吸が苦しい
- ・ 呼吸がない、意識がない
- ・ 激しい頭痛、胸痛、腹痛
- ・ ろれつがまわらない、話せない
- ・ 広い範囲のやけど
- ・ 傷が大きい、大量の出血、血を吐いた



救える命を救うために、救急車の適正利用について町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。